

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場会社名 株式会社 ニチイ学館

上場取引所 東

コード番号 9792 URL <http://www.nichiigakkan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務本部長兼経理部長 (氏名) 寺田 孝一

TEL 03-3291-2121

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	112,643	6.3	2,398	—	2,293	—	677	—
21年3月期第2四半期	105,958	—	△1,181	—	△1,313	—	△1,539	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	9.80	—
21年3月期第2四半期	△43.72	—

(注)平成21年4月1日付にて普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。そのため、平成21年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	120,553	47,821	39.5	689.42
21年3月期	120,491	47,873	39.6	1,372.06

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 47,613百万円 21年3月期 47,682百万円

(注)平成21年4月1日付にて普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。そのため、平成21年3月期連結会計年度末に係る1株当たり純資産は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)平成21年4月1日付にて普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。そのため、平成21年3月期連結会計年度に係る1株当たり配当金は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,000	10.5	5,470	439.6	5,350	568.4	2,500	—	35.97

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 73,017,952株 21年3月期 36,508,976株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 3,955,090株 21年3月期 1,756,599株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 69,183,778株 21年3月期第2四半期 35,219,862株

(注)平成21年4月1日付にて普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。そのため、平成21年3月期連結会計年度に係る期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期連結累計期間)は、当該株式分割が行われる前の株式数で表示しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、国内外の経済対策の効果等により生産や輸出が持ち直し、底打ち・回復局面に入っておりますが、雇用や所得環境は好転しておらず、回復の実感の乏しいものとなっております。

そのような中、介護分野では、4月から介護報酬が3%引き上げられ、また、10月から介護職員処遇改善交付金の支給が決定されました。医療分野においても、医師不足対策等が実施される等、社会保障機能拡充政策が進められています。

ニチイグループでは、新経営執行体制のもと、グループ内経営資源の整備を進め、「教育から就業まで」という当社のビジネスモデルを最大限に発揮する中長期的な視野での事業成長戦略に取り組んでおります。

経営成績につきましては、資格ニーズの高まり等から教育事業の受講生数が順調に推移したことや、在宅系介護サービス利用者の増加等によりヘルスケア事業の収益性が改善したこと等から、売上高は増収基調を維持し、収益は改善いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は112,643百万円（前年同期は105,958百万円）、営業利益は2,398百万円（前年同期は営業損失1,181百万円）、経常利益2,293百万円（前年同期は経常損失1,313百万円）、第2四半期純利益は677百万円（前年同期は第2四半期純損失1,539百万円）の大幅増益となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

<医療関連事業部門>

医療関連事業においては、既存サービスの拡充から新たなソリューションサービスの拡大を進めてまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、新規契約先の獲得に向けた営業強化にも取り組み、病院においては契約件数が増加傾向へと転じつつあります。

また、医療経営支援サービスの新品種といたしまして、7月に医療機関・介護施設の情報検索ポータルサイト「Life Clover」を新たに開設し、医療機関運営への包括的なサービスを推進いたしました。

第2四半期連結累計期間における売上高は50,435百万円（前年同期は50,723百万円）、営業利益は3,680万円（前年同期は3,736百万円）となりました。

<ヘルスケア事業部門>

当第2四半期連結累計期間は、既存サービスの拡充、新サービスの推進等、トータル介護サービス体制の強化を図ってまいりました。また、4月の介護報酬改定による新たな報酬体系のもと、スタッフの処遇改善に取り組みました。

在宅系介護サービスにつきましては、ケアプランや訪問介護、通所介護サービスの利用者数が堅調に増加したことに加え、ケアマネジャー一人当たりのケアプラン数の増加やスタッフの稼働の効率化を推進したことにより、収益力が向上いたしました。居住系介護サービスにおいても、承継後に開設した施設の稼働率が向上したことにより、収益性が前期と比較し大幅に改善いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は53,592百万円（前年同期は49,516百万円）、営業利益は731百万円（前年同期は営業損失833百万円）と前年対比で大きく伸張いたしました。

<教育事業部門>

医療・介護関連資格の受講ニーズの高まりを受け、既存講座を積極的に開講いたしました。その他、医師不足対策で注目される医療クラークの養成に向けた「メディカルドクターズクラーク講座」の展開強化をはじめ、医療・介護現場で即戦力となる人材の育成を目指した各種関連講座の販促活動も強化してまいりました。

この結果、主力講座である「医療事務講座」「ホームヘルパー2級講座」を中心に、受講生数は順調に推移し、売上高は8,333百万円（前年同期は5,346百万円）、営業利益は1,923百万円（前年同期は営業損失877百万円）となり、収益が大幅に改善いたしました。

<その他事業>

主力事業への集中を進め、グループでの事業効率化を図り、この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は282百万円（前年同期は371百万円）、営業利益は185百万円（前年同期は119百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期の総資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、120,553百万円となりました。主な要因は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加などにより流動資産が3,176百万円増加し、投資その他の資産の減少などにより固定資産が3,114百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、114百万円増加し、72,732百万円となりました。主な要因は、短期借入金や1年以内償還予定社債の減少がありましたが、賞与引当金や未払法人税等の増加などにより流動負債が803百万円増加し、長期借入金の減少などにより固定負債が689百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、52百万円減少し、47,821百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月19日に発表した連結業績予想を据え置きといたします。平成22年第3・第4四半期についても期初の計画通り推移すると予想しておりますが、今後の進捗状況を見極め、修正する必要がある場合は速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかな、たな卸資産についてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,800,411	4,727,904
受取手形及び売掛金	27,139,920	25,720,516
商品及び製品	452,038	311,592
仕掛品	2,636	3,100
原材料及び貯蔵品	203,486	155,076
その他	7,230,718	6,722,029
貸倒引当金	△119,624	△106,666
流動資産合計	40,709,588	37,533,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,887,062	27,033,300
その他(純額)	9,262,005	9,535,703
有形固定資産合計	36,149,067	36,569,004
無形固定資産		
のれん	19,323,462	19,920,273
その他	4,410,637	4,135,517
無形固定資産合計	23,734,099	24,055,790
投資その他の資産		
その他	20,649,937	23,028,576
貸倒引当金	△688,999	△695,206
投資その他の資産合計	19,960,938	22,333,369
固定資産合計	79,844,105	82,958,164
資産合計	120,553,694	120,491,717
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	890,503	803,676
短期借入金	5,538,002	8,668,002
未払法人税等	2,470,222	870,677
未払費用	13,267,539	12,800,370
賞与引当金	3,955,504	2,626,995
役員賞与引当金	24,976	32,400
その他	11,753,890	11,294,730
流動負債合計	37,900,637	37,096,853
固定負債		
長期借入金	25,323,437	26,622,366
退職給付引当金	3,965,483	3,704,320
役員退職慰労引当金	144,990	142,044
その他	5,397,517	5,052,291
固定負債合計	34,831,429	35,521,022
負債合計	72,732,067	72,617,875

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,354,214	17,354,214
利益剰余金	25,115,503	24,820,390
自己株式	△6,788,520	△6,436,143
株主資本合計	47,614,987	47,672,252
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,451	10,028
評価・換算差額等合計	△1,451	10,028
少数株主持分	208,090	191,560
純資産合計	47,821,627	47,873,842
負債純資産合計	120,553,694	120,491,717

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	105,958,315	112,643,552
売上原価	88,049,542	89,917,886
売上総利益	17,908,772	22,725,666
販売費及び一般管理費	19,090,561	20,327,577
営業利益又は営業損失(△)	△1,181,788	2,398,088
営業外収益		
受取利息	15,930	14,518
受取事務手数料	42,952	58,752
固定資産賃貸料	100,661	—
受取賃貸収入	—	68,513
その他	49,433	72,337
営業外収益合計	208,977	214,121
営業外費用		
支払利息	262,984	264,352
社債利息	23,310	3,307
賃貸費用	—	30,901
その他	54,647	20,602
営業外費用合計	340,942	319,163
経常利益又は経常損失(△)	△1,313,754	2,293,046
特別利益		
固定資産売却益	—	43,528
貸倒引当金戻入額	12,264	—
過年度償却債権取立益	—	69,757
特別利益合計	12,264	113,286
特別損失		
固定資産除却損	10,435	11,265
投資有価証券売却損	—	120,945
関係会社株式評価損	3,999	—
貸倒引当金繰入額	75,000	—
事業整理損	—	7,392
特別損失合計	89,435	139,602
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,390,924	2,266,730
法人税、住民税及び事業税	266,927	2,141,511
法人税等調整額	△134,435	△573,534
法人税等合計	132,492	1,567,977
少数株主利益	16,225	21,029
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,539,642	677,723

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。